

# KEM News Letter 13号

## 2023年度 第21回学術大会が対面にて開催されました

### KEM第21回学術大会が開催されました

テーマ：歯髄保存療法の最前線

—Vital pulp therapyの現在を知る—

2023年2月5日（日）9:30～15:00

場所：秋葉原コンベンションホール

参加人数164名

テーマ

「歯髄保存療法の最前線—Vital pulp therapyの現在を知る—」

演者：興地 隆史 教授(東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 口腔機能再構築学講座 歯髄生物学分野)

「Vital Pulp Therapy の動向」

田中 利典 先生(東京都・川勝歯科医院副院長)

「VPTの診療ガイドラインとその臨床活用」

泉 英之 先生(滋賀県・泉歯科医院院長)

「Vital pulp therapy の科学と臨床 ～いま、わかっていること、わかっていないこと～」

大会長：澤田 則宏 会長・実行委員長：岸本 英之先生

テーマ講演座長：古澤成博 先生、金沢紘史 先生

一般講演座長：海老原 新 先生 小原 俊彦 先生

① 石崎 秀隆 先生 吉村 篤利 先生② 寺岡 寛 先生③ 紅林 尚樹 先生④ 藤野 拓郎 先生

参加費：会員 ¥10,000 非会員 ¥15,000

日本歯内療法学会非会員で当日入会される方 ¥17,000 学生・大学院生・研修医 ¥8,000



関東歯内療法学会第21回学術大会に参加して

東京都勤務医 和田 健

2023年2月5日に秋葉原コンベンションホールにて関東歯内療法学会が開催された。3年ぶりの実開催とのことで164名の参加者がおり、



会場は満席であった。今回のテーマは『歯髄保存療法の最前線 -VPTの現在を知る-』テーマ講演は3名の先生による講演であった。興地先生は歯髄機能を温存、象牙質形成の保持、生体防御の観点から歯髄保存の意義が高いことを示す反面、生物学的要因、臨床的要

因の観点からその予知性が不十分であることを話されていた。またAAEとESEでは同じう蝕処置において推奨される処置方針が異なる現在の世界的な動向も示されていた。

田中利典先生はMTAセメントの申請から保険適用までの流れを、曖昧に用いられがちな適応と適用の言葉の定義の違いについて等も講演して頂き、またVPTにおける診療ガイドラインにおけるCPG作成手順や、CQクリニカルクエスチョンについて詳細に伺うことができた。

泉英之先生は外傷によるVPTとう蝕による歯髓の退行性変化を伴ったVPTではその成功率に差が出ることを話されていた。

実際の臨床のポイントとして、断髄後に5分間待って止血できなければ更なる断髄を試みた方がよいことや、露髄部の色や出血状態が代用マーカーとなることをご講演されていた。午後は一般口演の4題であり、感染根管処置の計画であったが生活反応が確認されたためVPTを行なった症例から、デンタルエックス線写真にて根尖病変がある永久歯でも歯髓診断を行うことの重要性についてや、断髄法の中期予後と応用について。またサイナストラクトを有して生活反応を認めなかった若年者永久歯に対して歯髓再生療法を試みて経過良好な症例の発表、神経障害性疼痛などの非歯原性疼痛において、キシロカインゼリーをアロデニア部位（歯肉）に塗布、4ヶ月で症状なくなった症例などを発表されていた。今回は歯髓保存療法という分野にフォーカスを絞った1日となり、一日通して術前診査の重要さと術中の保存できるか否かの診断は未だ術者の判断に委ねられていることを改めて実感した。しかしこのような機会があることにより、他の先生方が診断時に重要視していることや臨

床時のポイントなどを聞くことができ、術者による判断が大きいVPTにおいてより理解が深まり、自分自身の臨床に反映されるとてもいい機会になったと強く感じている。

アンケートより抜粋

### Q今回のサマーセミナーに参加されていたか？

中々聴く機会の少ない興地先生の歯髓についての御講演が聴けて良かったです

久しぶりの対面式で、楽しかったです！

学術から臨床まで歯髓保存を広く再確認できました

学術から臨床まで歯髓保存を広く再確認できました

悩んでいる点について基準等を示して頂けたので勉強になりました

保険の話など聞きたくない、予後がないので成功しているのかわからない

VPTの知識をアップデートできた

研究から臨床まで系統的で大変勉強になりました

### Q今回のセミナーの内容は、今後の診療に役に立ちますか？

VPTについて理解を深めたことにより日常臨床に役立てられるのではないかと考える

歯髓保存の重要性

予後が少なく臨床的に成功なのか？不安

保険診療の範囲で歯髓温存療法は中々難しいと感じたため

リアル開催が出来たことが良かったです。執行部の先生方ありがとうございました

基礎研究、診療ガイドライン、実際の臨床の勘所と3名の先生方の流れがあって良かったです

示唆に富んだ内容の講演で明日からの臨床に役立ちそうです

## Q今回よく理解できた事は何でしたか？

歯髄の診断に関して

歯髄の診断の難しさ

止血ができない場合は抜髄しておりましたが先生方がどのような症例をされているのか見られてよかったです

VPTのガイドライン等について

VPTの実際と行う際の注意事項について

歯髄再生療法の潮流

歯髄診断のわかっていることわかっていないこと

断髄時の反応の経過について

歯髄保存の客観的な明確な基準はないということ

VPTの症例選択と、断髄位置の決定についての判断難しさ

炎症のコントロールはできるが痛みのコントロールは不明

MTAの適用についてと、非可逆性歯髄炎の追加診断に関してです

VPTと歯髄診断の重要性

薬事承認、適応、保険適用

断髄の可能性が勉強になりました

出血のありなしでは抜髄は決定できない

歯髄保存療法の術式

歯髄の強さ

一般口演4題の中から参加者による投票が行われ

今回の鈴木賢策賞は

藤野拓郎先生「神経障害性疼痛が疑われた患歯に対応した2症例」

に決定しました。藤野先生、おめでとうございます。学会より盾が贈呈されます。

関東歯内療法学会のホームページをご覧ください。

<http://jea-kantoh.jp/index.php>

皆様からのご意見ご希望などをMailにてお待ちしております。

## 2023年度第24回ハンズオンセミナー及び第26回サマーセミナーについて

### 【第24回ハンズオンセミナー】

日時：2023年8月31日（木） 14:00～16:00

場所：場所:東京歯科大学内

新館10階臨床基礎実習室（実習室）

テーマ：「試してみよう！さまざまな根管洗浄法」

定員：48名 参加費：10,000円（ただしJEA会員のみお申し込み可能です）

※当日参加は無しとさせていただきます。

内容：現在日本で使用可能な6種類の根管洗浄器材の詳細とその実際をハンズオンで学ぶことができます。

### 【第26回サマーセミナー】

日時：2023年（令和5年）8月31日（木） 17:00-19:20

場所：場所:東京歯科大学内 東京都千代田区神田三崎町2-9-18 東京歯科大学新館血脇ホール（大会場）

テーマ：「根管洗浄を考える」

協賛企業挨拶 トロフィー・ラジオロジー・ジャパン株式会社

古畑和人先生（埼玉県開業）

梅田貴志先生（東京都開業）

下山泰明先生（埼玉県開業）

参加費(サマーセミナーのみご参加の場合)：JEA会員6000円、JEA非会員8000円

※当日参加は無しとさせていただきます。

定員：100名

今回はサマーセミナー終了後、近くの会場にてビアパーティーを久しぶりに開催いたします。

事務局アドレス：[golden-circle@nifty.com](mailto:golden-circle@nifty.com)